

平成 30 年 9 月 1 日

第 1 回講演会報告

広報 谷田耕三

8月29日、今年度第1回講演会がナディアパーク 6階学習室で開催されました。講演者は名古屋清港会事務局長熊谷一幸氏、演題は「名古屋港及び堀川、新堀川、中川運河の清掃の現状」です。参加者は39名でした。

名古屋清港会は昭和28年前身の組織が発足し、昭和34年に公益社団法人となった歴史のある団体です。我々考える会が堀川など河川周辺地上部の美化活動を行っているのに対し、名古屋清港会は水面に浮遊しているゴミや死魚の除去が主な仕事です。清掃船を使って名古屋港と接続している河川（堀川、新堀川、中川運河他）を清掃エリアとしています。

映像を使い、清掃船での作業の様子、港湾河川別のゴミや死魚の回収の様子、河川別の回収量、年代による回収量の変化などの説明がありました。ゴミは昭和30年代が多く、回収してもすぐに投げ捨てによりゴミが増える一方だったそうです。

最近では、ゴミは減少傾向にあります。死魚は逆に増えているそうです。

河川で見られる魚は年々増えていますが、死魚の回収量も増えているとのこと。原因はいろいろ考えられますが、何とも悲しい現状です。

今回、河川の清掃作業という地道な仕事の話を知ることが出来て大いに参考になりました。



堀川でマイワシの大量死の新聞記事